

午後8時の訪問者 (2016)

LA FILLE INCONNUE
THE UNKNOWN GIRL

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー ドラマ

製作国 ベルギー／フランス

色彩 Color

時間 106分

初公開日 2017/04/08

公開情報 ビターズ・エンド

映倫 G

【キャッチコピー】

あの時、ドアを開けていれば――。

診療所近くで見つかった身元不明の少女の遺体。
少女は誰なのか。なぜベルを押したのか。

【解説】

「息子のまなざし」「サンドラの週末」のジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ監督が、一人の身元不明少女の死の真相を探る若い女医を主人公に描くヒューマン・サスペンス。少女の死に責任を感じ、その足取りを辿る中で自らも思いも寄らぬ危険に巻き込まれていくヒロインの運命を、現代の様々な社会問題を背景にスリリングに描き出す。主演は「水の中のつぼみ」「メゾン ある娼館の記憶」のアデル・エネル。

有能な若き女医ジェニー。今は小さな診療所勤めだが、間もなく大きな病院へ好待遇で迎えられる予定。ある晩、診療所の呼び鈴が鳴るが、診察時間は過ぎているからと、研修医ジュリアンがドアを開けようとするのを引き止める。翌日、警察が来て、近くで身元不明の少女の遺体が見つかったと知るジェニー。昨夜の監視カメラには、呼び鈴を鳴らす少女の姿が映っていた。あの時、ちゃんと出ていれば少女は死ななかった、と自分を責めるジェニー。罪悪感から携帯にコピーした少女の写真を手に、名前も分からない彼女の身元を突き止めるべく自ら聞き込みを始めるが…。

【クレジット】

監督	ジャン＝ピエール・ダルデンヌ	Jean-Pierre Dardenne	
	リュック・ダルデンヌ	Luc Dardenne	
製作	ジャン＝ピエール・ダルデンヌ	Jean-Pierre Dardenne	
	リュック・ダルデンヌ	Luc Dardenne	
	ドゥニ・フロイド	Denis Freyd	
製作総指揮	デルフィーヌ・トムソン	Delphine Tomson	
脚本	ジャン＝ピエール・ダルデンヌ	Jean-Pierre Dardenne	
	リュック・ダルデンヌ	Luc Dardenne	
撮影	アラン・マルコアン	Alain Marcoen	
美術	イゴール・ガブリエル	Igor Gabriel	
衣装	マイラ・ラマダン＝レヴィ	Maira Ramedhan-Levy	
編集	マリー＝エレーヌ・ドゾ	Marie-Helene Dozo	
出演	アデル・エネル	Adele Haenel	ジェニー

オリヴィエ・ボノー	Olivier Bonnaud	ジュリアン
ジェレミー・レニエ	Jeremie Renier	ブリアンの父
ルカ・ミネラ	Louka Minnella	ブリアン
オリヴィエ・グルメ	Olivier Gourmet	
ファブリツィオ・ロンジョーネ	Fabrizio Rongione	